

1 4歳馬〔23 2 21〕
 ▼まず注目は春のGⅠで上位入線のシウナンラブリタとサンライズアース。距離適性で優位は、ステイヤーの後者より適性範囲が広い前者。アドマイヤテラはOP↓GⅡと連勝中。菊花賞3着の実績もあり、距離・コースを問わず崩れないのも長所。サマリナは今年重賞②④⑥着で手の届くところまで来ている。今回は相手強化が課題顕在。ジュンテイクはここにかけて復調気配。侮れぬ。〔43 3 28〕

2 5歳馬〔43 3 28〕
 ▼ドウレツツアは一昨年の菊花賞馬で昨秋JC②着の実績。GⅠを除けば「41110」。状態面が整えば上位争い。ブレイヴロッカはL競走でも勝ち切れないが、距離二四は③④①③着と合う。ヴェルミセル・ヴェルテンベルクは前走内容に不満。好走には上積みが必須か。〔22 2 24〕

3 6歳馬〔22 2 24〕
 ▼前10年で6頭が馬券内。この6頭は「前走」⑤着以内。この共通点があった。今年の6歳勢はボルドグブーシユ(G・GⅡ②着)やブラダリア(一昨年の勝ち馬)など実績上位馬が多いが、いずれも近走に不満。上昇度が鍵。

4 7歳以上〔22 3 29〕
 ▼ディープモンスターは重賞未勝利の7歳馬だが、ここ3戦の内容は良い。複穴。

